

第10話 脳卒中の陰にかくれ脳出血あり

第3話では「かくれ脳梗塞」のお話をしました。今回は「かくれ脳出血」についてお話ししたいと思います。

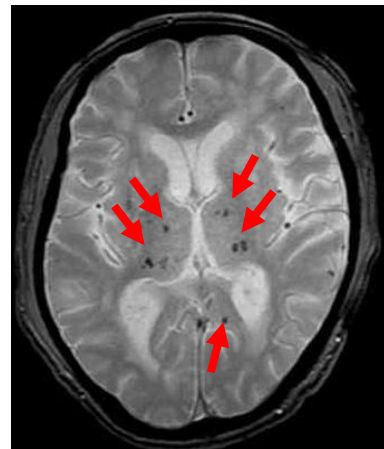
(1)「かくれ脳出血」ってどんなもの？

脳出血で緊急搬送された患者さんを MRI 検査で詳しく調べると、倒れた原因となった新しい大きな出血以外に、過去にごく少量の血液が漏れた痕跡が、高率にみつかります。これを脳微小出血(かくれ脳出血)といいます。

脳微小出血は脳の深部や小脳、脳幹に生じる深部型と脳表近くに生じる表在型があります。前者は高血圧による脳細動脈硬化が、後者はアミロイドβ蛋白の細い血管への沈着が関与しアルツハイマー病との関連も指摘されています。

(2)「かくれ脳出血」見つける方法は？

CT 検査や通常の MRI 検査では検出できません。「T2 スター強調画像(T2*WI)」もしくは「磁化率強調画像(SWI)」という特殊な MRI 撮像方法を用いることで見つけることができます。



T2 スター強調画像



赤矢印の黒いゴマのような点が、
かくれ脳出血です。

(3)「かくれ脳出血」はどのくらいの割合で見つかるの？

脳出血で運ばれてきた人では 100 人中なんと 60 人前後と非常に高率に見つかります。

ちなみに脳血管障害を持っていない人では 100 人中で 2,3 人にしかみつきません。もし、あなたの頭にかくれ脳出血があれば、かくれ脳出血が無い人に比べて、脳出血が 50 倍、脳梗塞が 4.5 倍起こりやすいとの報告もあります。

(4)「かくれ脳出血」このようにイメージしてください。

血管が高血圧によって劣化し、傷んだ部位から血液が漏れ出してしまうことがあります。

散水用のゴムホースを思い浮かべて下さい。古くボロボロに傷み、ときおり水漏れがするホースに勢いよく水道水を流したらどうなりますか？亀裂を生じて、そこから水が勢いよく噴き出すことも、経験しますね。

高血圧のかたで、かくれ脳出血がある場合、本物の脳出血を起こしやすく、いかに危険かがお解りいただけたと思います。



(5)「かくれ脳出血」がいくつも見つかったら

血圧を厳密に管理し、血管に過剰な圧力がかからないようにします。これによって、血管が破裂することを防ぎます。

さらに、血圧を下げることで、血管の劣化の進行を抑え、劣化を改善させることも可能となります。

また“血液サラサラ薬”を服用している場合は、脳内出血のリスクが高まるため、慎重な管理が必要です。